

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

1月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。2016年（熊本地震の年）に当センターに赴任し、10回目の正月を迎えました。近隣の先生方や医療関係の皆さまにはいつも変わらぬご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

昨年4月には泌尿器科の中村医師、今藤医師と眼科の古島医師を迎え、外来、入院、手術が可能となりました。今年4月には麻酔科医が1名増員となり、時間外手術にも対応できる体制が整いつつあります。

昨年は賃金・物価上昇と不十分な診療報酬改定とが自治体病院を直撃し、90%の病院が赤字を計上しました。当センターでは、一昨年度との比較で営業収益は13%増加している一方で、純損益は20%増加しました。救急車受け入れ台数は過去5年間で1000台弱から約1500台に増加し、新規入院患者数も一昨年から434名増加しましたが、支出の増加をカバー出来ませんでした。現在、入院患者数の増加、在院日数の適正化、診療報酬加算増、診療報酬査定減などに取り組み、一定の効果を上げています。今年は、ベッド数の適正化や非常勤医師の常勤医師への移行等にも積極的に取り組んでいきます。一方、新型コロナ感染症による病棟単位での診療制限を3回行いましたが、救急診療、入院、手術等への影響は最低限で済みました。通常診療との棲み分けが進んでいます。

昨年は3つの学術集会を当センターで主催し、い

ずれも200名超の参加がありました。一つめは、第27回日本医療マネジメント学会熊本支部学術集会を3月15日に開催しました。「地域の未来に向けての病院づくり、Yes, we can!」をテーマに掲げ、県内外から多数の方々に参加いただき、活発な議論をいただきました。会長講演をホームページ上に公開していますので、是非ご覧ください。二つめは、9月27日に第8回市民公開講座「泌尿器がんを知ろう！～腎臓・膀胱・前立腺がんの診断と治療～」を開催しました。熊本大学泌尿器科学教授の神波大己先生と当センターのスタッフで講演を行いました。健康チェックコーナーや質問コーナーも盛況でした。最後に10月25日に第29回熊本県国保地域医療学会を開催しました。「地域で治し支える医療」の実現に向けて」というテーマのもと、病院、施設、役場等から多職種の関係者が参集しました。前厚生労働省 医務技監の福島 靖正氏から、「これからの超高齢社会にどう対応するか」と題した特別講演をいただき、今後の地域医療が進むべき方向性を示していただきました。当センターの放射線技師と看護師が、昨年と今年の優秀演題賞を受賞したことは大変喜ばしいことでした。

「がん診療」、「高齢者医療」、「予防医療」を3本の柱として、患者さんを中心とした地域完結型医療の実践に向けて職員一同、努力してまいります。さらに笑顔があふれる病院を目指したいと考えています。患者さんが、病気が治って笑顔、苦痛がとれて笑顔、職員が笑顔で挨拶、笑顔で仕事などが目標です。市民の皆様「健幸」を支える病院づくりのためには、健診センター、緩和ケア病棟、外来化学療法部門を含む旧棟の立て替えも急務と考えています。

本年もご指導、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

新年のご挨拶	P 1
新年のご挨拶	P 2
新年のご挨拶・第86回公開講演会のご案内...	P 3
外来担当医表(1月)	P 4

新年のご挨拶



院長 石河 隆敏

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年はTSMC工場稼働や万博開催などを通じて、デジタル技術が大きな話題となりました。特に生成AI（人工知能）の広がり目覚ましく、いつのまにかAIを活用したシステムが日常生活に入り込んでいる状況です。医療分野への応用も進んでおり、昨年当センターが主幹を務めた二つの学会でも多くの新しい技術が紹介されました。当センターでも今年の導入を予定しているものがあり、より良い医療につながるよう準備を進めています。

新しい技術が未来を切り拓くように、今の厳しい医療情勢に対応するためにはこれまでにない発想や改革が必要です。少子高齢化の中でも地域の安心を支える病院となるために、時代に沿った取り組みを進めてまいります。病院が持つ資源を新しい視点で見直し、多職種が力を合わせて市民の皆さまに貢献できる「未来に向けた病院づくり」を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長・整形外科 工藤 智志

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は地域の先生方には紹介、逆紹介と大変お世話になりました。

2026年診療報酬改定は高齢社会への対応として「早期リハビリによる早期在宅復帰、かかりつけ医療機能の強化」を大きな柱の中に入れてあります。

地域完結型医療に焦点が当たる1年になりそうです。

地域の先生方、介護施設、在宅ケア施設の先生方と連携を取りながら当医療センターの役割を果たせるよう日々努めていく所存でございます。

今年度も何卒よろしくお願いいたします。



副院長・循環器内科 大庭 圭介

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、御礼申し上げます。つつがなく新春を迎えられましたのは、ひとえに皆さまのご支援とご協力によるものと、深く感謝しております。

本年も地域医療に貢献できるよう、専心努力して参りますので、なにとぞ倍旧のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



診療部長・総合診療科 吉岡 明子

初春のお慶びを申し上げます。昨年中は多数の患者さんのご紹介とともに、患者さんの診療継続の依頼へのご快諾をいただきまして誠に有難うございました。今春も昨年同様にインフルエンザの猛威のなかでの年明けとなりました。先生方のご協力のもとで病病連携、病診連携に邁進し、インフルエンザの猛威に負けることなく、万馬奔騰のごとく山鹿市民医療センターおよび山鹿地域の医療の発展のために精進していきたいと考えております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



看護部長 松本 和美

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、地域の皆さまに温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は巳年の象徴である「再生・変革・知恵」を胸に、看護部として新たな挑戦を積み重ねてまいりました。皆さまの健康と安心を守るために、看護実践力や倫理的行動力の向上、専門性の高い人材の育成に努め、地域に根ざした看護の姿を形づくることができたと感じております。

本年は丙午（ひのえうま）の年。火のような情熱と、駆け抜ける馬の力強さを象徴する年といわれています。私たち看護部は、これまで培った知恵と経験を土台に、さらに前進し、地域の皆さまの「命と健康」に貢献できる医療・看護の提供を目指してまいります。

新しい年が皆さまにとりまして、健康で希望に満ちた1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



事務部長 入江 智紀

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

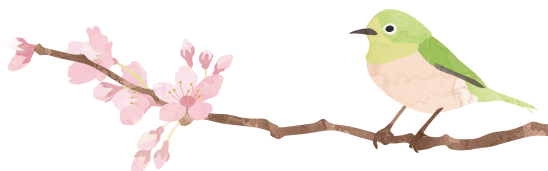
旧年中は、当センターの運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度は、国の2040年とその先を見据えた地域医療構想・ガイドラインが示され、来年度には都道府県の構想が策定されます。

当センターにおいては、これらを見ながら鹿本医療圏域唯一の地域医療支援病院としてのあり方や機能について、諸先生方のご協力を賜りながら見直しを進めていきたいと考えております。

今後とも自治体病院としての使命を果たすべく、職員一同、地域医療の発展に尽力してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



第86回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座 1 単位）

取得カリキュラムコード 番号・コード名
54. 便通異常

下記により第86回講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和8年1月9日（金）19：00～

形式：ハイブリッド方式（オンライン参加or会場参加）

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「便秘症の診断と治療」

司会：山鹿市民医療センター

消化器内科長 本原 利彦 先生

演者：山鹿市民医療センター

消化器内科 竹熊 梨祐 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

（参加URL）：<https://zoom.us/j/96127636576>

（参加QRコード）⇒

ミーティング ID：961 2763 6576

パスコード：662239



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 西田・古家

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

1月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 古川 嗣大	※ 赤池 公孝	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※ 宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹熊 梨祐	本原 利彦	中垣 貴志 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※ 中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 山口	工藤 智志 樽美 山口	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河 隆敏 / 増田 稔郎 辛島 龍一 / 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 辛島 龍一
乳腺外科(予約制)	—	※ 富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※ 神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※ 石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) 非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※ 片渕 美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★ 非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡 明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来【予約制】

1月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	<div>毎週</div> 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	<div>毎週</div> 金曜（がん薬物療法専門医）	
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	担 当 医	—	Aブロック
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	<div>毎週</div> 水曜（受付時間13:30～16:00）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	<div>毎月</div> 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	<div>毎月</div> 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆睡眠時無呼吸外来については、現在は新規予約の受付を行っていません。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>